

2 学 期	<p>單元4. よりよい読み手になるために</p> <p>【知識及び技能】 〔1〕(1) 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 〔1〕(2) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び語彙の使い方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力・判断力・表現力等】 〔C〕(1) 目的に応じて、文や文章などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 全文を通読し、事例と比較して述べる方法の長所と短所について考える。 筆者がどのような情報を示しながら主張を展開しているか、分析・評価する。 全文を通読し、内容に沿って段落に分ける。 各段落から、「問題」「結論」「理由」の要素を読み取り、筆者の主張をつかむ。 本文中の事例と筆者の主張の関係をよめる。 教材 「論理的な表現」 その他関連資料 一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 〔1〕(1) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び語彙の使い方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔1〕(2) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 〔C〕(1) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字を文や文章の中で使ったり、語句の量を増し語感を磨き語彙を豊かにしたり、目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、文章の構成や論理の展開を評価したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	1	5	
	<p>單元5. 場に応じて伝えるために</p> <p>【知識及び技能】 〔1〕(1) 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しきなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 〔1〕(2) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び語彙の使い方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 〔2〕(2) 主張と論拠など情報と情報の関係について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 〔A〕(1) 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。 〔A〕(2) 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方などを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 漫画によるクイズを解いて、答えと根拠をメモし、ペアやグループで交流する。 「情報がない、という情報」に相当する事例を考える。 二つの文章を読み比べ、書きぶりの違いに気づく。ペアやグループで交流し、各自の気づきを共有する。 プレゼンテーションのフォーマットを伝え、発表資料を作る。 資料に合わせて、発表原稿を書き、プレゼンテーションを行う。 本文の要旨や要点を捉える。 教材 「A1は哲学できるか」「図書館員のホスターの掲示内容を検討する」 プレゼンテーション その他関連資料 一人1台端末の活用 等 プレゼンテーション資料を作成し、その資料を提示しながらプレゼンテーションを行う。</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しきなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。〔1〕(1) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び語彙の使い方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔1〕(2) ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。〔2〕(2) 【思考・判断・表現】 ・「話す聞く」ことにおいて、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。〔A〕(1) ・「話す聞く」ことにおいて、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方などを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A〕(2) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さや適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、話し言葉を増し語感を磨き語彙を豊かにしたり、情報と情報の関係について理解し、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたり表現を工夫したり、論理の展開を予想しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	5	5	
	定期考査				○	○	1
3 学 期	<p>單元6. 読得力を高めるために</p> <p>【知識及び技能】 〔1〕(1) 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 〔B〕(1) 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考え、文章の構成や展開を工夫すること。 〔B〕(2) 自身の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方などを考え、文章の種類や、文体、語句などの表現の工夫を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 全文を通読し、本文の概要をとらえる。 本文の内容を整理し、理解する。 教材 「理想の修学旅行をプレゼンする」「日本語は世界をこのように捉える」 一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 〔1〕(1) 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において書き手の主旨を理解できるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考え、文章の構成や展開を工夫している。〔B〕(1) ・次項の「書くこと」において自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方などを考え、文章の種類や、文体、語句などの表現の工夫を工夫している。〔B〕(2) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考え、文章の構成や展開を工夫したり、根拠の示し方や説明の工夫を工夫し、文章の種類や語句の表現を工夫し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	6
	<p>單元7. 考えを共有していくために</p> <p>【知識及び技能】 〔1〕(1) 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 〔2〕(2) 推論の仕方について理解し使うこと。 【思考力・判断力・表現力等】 〔A〕(1) 論理の展開を予想しながら、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方などを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。 〔A〕(2) 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、表現などを工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 前項において文章を読み、理解したうえで、えがかれていない先を考える。 筆者が伝えたいことと伝え方について考える。 筆者の理論に沿ってつづきをまめる。 それぞれの書いた文章を読み比べ、各自の伝え方について、グループで交流し、自分の考えをまとめる。 教材 「人はなぜ仕事を志すのか」 その他関連資料 一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。〔1〕(1) ・推論の仕方について理解し使っている。〔2〕(2) 【思考・判断・表現】 ・「話す聞く」ことにおいて、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方などを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A〕(1) ・「話す聞く」ことにおいて、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。〔A〕(2) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方や推論の仕方について理解し使ったり、論理の展開を予想しながら聞き、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたり、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫したりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	8
	定期考査				○	○	1
3 学 期	<p>單元8. よりよい書き手になるために</p> <p>【知識及び技能】 〔1〕(1) 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 〔2〕(2) 推論の仕方について理解し使うこと。 【思考力・判断力・表現力等】 〔B〕(1) 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 事例と主張の関係に注意しながら全文を通読する。 筆者の主張がどのように事実に基づいているかを整理・分析する。 課題を決め、複数の資料を読み、問題設定をする。 資料から読み取れることをメモし、自分の体験と照らし合わせて分析整理する。 課題に対する自分の立場を定め、文章にする。 三つの内容に整理し、文章を構成する。 教材 「イースター島」 その他関連資料 一人1台端末の活用 等 小論文作成のための資料を収集する。 文書作成ソフトを用い、小論文を書く。</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 〔1〕(1) ・推論の仕方について理解し使っている。〔2〕(2) 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B〕(1) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、推論の仕方について理解し使ったり、目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>			6
	<p>單元8. よりよい書き手になるために</p> <p>【知識及び技能】 〔1〕(1) 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 〔2〕(2) 推論の仕方について理解し使うこと。 【思考力・判断力・表現力等】 〔B〕(1) 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 事例と主張の関係に注意しながら全文を通読する。 筆者の主張がどのように事実に基づいているかを整理・分析する。 課題を決め、複数の資料を読み、問題設定をする。 資料から読み取れることをメモし、自分の体験と照らし合わせて分析整理する。 課題に対する自分の立場を定め、文章にする。 三つの内容に整理し、文章を構成する。 教材 「黄色い花束」「社会に対する意見文を書く」 その他関連資料 一人1台端末の活用 等 小論文作成のための資料を収集する。 文書作成ソフトを用い、小論文を書く。</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 〔1〕(1) ・推論の仕方について理解し使っている。〔2〕(2) 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B〕(1) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、推論の仕方について理解し使ったり、目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>			12
	定期考査				○	○	1
合計						70	